



南の風



ぞうきんになりたい



44日間という長い夏休みが終わり、学校に明るく元気な子どもたちの声が戻ってきました。今年の夏は記録的な暑さが続きましたので、外出にも気を遣うことが多かったかと思いますが、きっと、家族や友達と教室ではできない、かけがえのない体験をし、楽しい思い出がたくさん作れたことでしょう。

さて、いよいよ2学期がスタートしました。2学期は、1年で一番長く大切な行事も盛りだくさんです。子どもたちにとって充実した2学期になって欲しいという願いを込めて始業式に次のような話をしました。

今まで、学校教育目標の話をしてきましたが、学校にはもう一つ、みんなが取り組んでいることがありますね。風早南部小学校は「あいさつとお花とお掃除の学校」ですね。そこで、お掃除に関連して「ぞうきん」をいう詩を紹介しました。身をもって汚れをふき取り、きれいにする代わりに自分が汚れていくぞうきん。お礼を求めることもなく、汚れることをなど気にする様子もなく、ただひたすら人のために働くぞうきん。褒めてくれなくても目立たなくても喜んで働くぞうきん。そんなぞうきんになりたいってどういうことだろう。と投げかけました。ぞうきんのように陰でみんなを支えて、みんなのために働ける人、動ける人、そんな人はとても立派だと思います、と話しました。

本校が取り組んでいる身に付けたい力の中に「自律性」があります。この自律性は、自分の考えをもち能動的に行動する力です。独りよがりな考えではなく、ぞうきんのように目立たなくても、人のために行動できる人を目指して欲しいと思っています。また、ぞうきんのように行動している人に「ありがとう」と感謝できる人になって欲しいと願っています。

子どもたちが様々な場面で自分らしく活躍ができるように、これからも見守っていこうと思います。引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

「ぞうきん」 河野 進 作

こまった時に思い出され
用がすめば すぐに忘れられる
ぞうきん
台所のすみに小さくなり
むくいを知らず
朝も夜もよろこんで仕える
ぞうきんになりたい

(『詩集 ぞうきん』より 幻冬舎)

